SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：肥後物産株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念、経営目標を明文化し、社内情報システムやホームページで社員がいつでも閲覧できる。また事務所・休憩所に掲示し、毎朝唱和をして社内で共有している。経営目標の実現に向けては、目標達成の全体設計図に沿ってそれぞれに担当を決めており、進捗状況は10日ごとに報告、共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守を含め、約束事を守る考え方は「会社の価値観」として社内情報システムに明記し、各自のスマホでいつでも確認できるような仕組みを構築している。また毎日の朝礼、終礼等で、報告・連絡・相談を徹底し、隠し事のない文化をつくっている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「会社の価値観」の中に「浮利を追わず」という価値観を明文化し、業界での不正競争行為がどのような事かを具体例をあげ関与しない方針を確認している。この価値観は社内情報システムで社員がいつでも閲覧できる。また価値観は、年1回、12月に全社員で見直しをして、再確認・共有している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		ゴミの分別等、担当者を決めている。企業活動におけるゴミの発生は、流通業のため、梱包の「ミスによるやり直し」に発生する梱包テープの廃棄程度なので、ミスがない作業手順を徹底するようにしている。もし改善が必要であれば、終礼時に確認する体制をとっている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		社内情報システム、顧客向けのオンライン受注システムなどの管理を、担当を決めて行っている。運用している情報機器も最新のOSに常にアップデートして情報漏えいに注意を払っている。またITコーディネータ協会からのIPA（情報処理推進機構）資料を参考に管理している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		運用している情報機器は最新のOSに常にアップデートして情報漏えいに注意を払っている。ITコーディネータ協会からのIPA（情報処理推進機構）資料を参考に管理している。 顧客データの入ったパソコンの持ち出しなどは、報告するようにしている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		及ぼす影響は、地元特産品の全国販売という活動を通して、地域社会の発展に貢献する事である。仕入先、顧客、運送店、株主、地域住民、とは常に対話を心がけ良好な関係を築いている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		朝礼時の勉強会において、特に「致知出版社」の月刊誌や、稲盛和夫氏の「心」「生き方」といった本を教材に「きれいな心や考え方」をお互いに高めていくようにしている。現在、社内において差別を感じる事はなく、そのような文化を築いている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務中に危険を感じたり、事故等に繋がる恐れがある場合は、その都度集まり話し合って改善をしている。梱包機械などは定期的にメンテナンスを行っている。また5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の徹底を実践している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		現在、全員が正社員の雇用形態となっているが、細分化された自己能力診断表（現在107項目）により、これまでも雇用形態に関わらず能力に応じた賃金支給を行っている。これにより、同一労働同一賃金を実現している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		1年変形の週40時間の年間計画表を作成して、労働基準監督署に提出し、ほぼ計画どおりに勤務している。また情報システムにより、会計・事務作業など自動化を進め残業時間の短縮に努めている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		毎日の朝礼で約30分の勉強会を行ったり、年に1回ですが、「一流に触れる」をテーマに研修を企画して実施するなど、社員の成長・能力開発を図っている。また中小企業大学の研修案内などを案内している。				4	5.5			8	9								

働・人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年に数回ですが朝礼時に、社員の健康維持向上を目的とした意見交換の場を設けている。また健康診断の経費補助を行っている。			3					8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		高齢化しても商品を扱えるように、機械化、梱包サイズの見直しを進めている。そして無理のない働き方、環境をつくり、定年後の再雇用を実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	顧客の件数が8年前より3倍に増えたが、ネット販売システムなどのDXの推進によって、同じ人数で対応し、営業1人当たりの生産性を高めている。 そして今後も、ネット販売率を現在の30%から、3年後には50%になるよう、サービスを充実させていく。 「訪問して見本を見せての販売」からオンライン上で商品写真や顧客の好みを数値化して見える「ネットでの販売」へと、販売方法の変革に取り組んでいる。 また、書類の電子化を進め、机の上に書類が無い状態を保っている。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		荷造りに使用する梱包バンドの廃棄量削減の為、定期的な機械の点検・整備、ミスの出ない作業方法の徹底等、仕組みづくりをしている。 また、プラスチック類など、箱に分けて分別・管理して資源ごみに出している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気代については、朝礼時に毎月報告を行い、自社のエネルギー使用量を把握している。また毎月の試算表の報告も行い、自社のエネルギーを含めた経費の把握は全員が出来る環境を整えている。 LED照明への切替や、電気の消し忘れ等お互いに注意しあい、社員全員で意識をもって節電に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		2020年のCO2排出量は9t-co2(金額で電気代、ガソリン代等で96万円/年)であった。この事は社員全員で共有している。 排出の抑制については、8年前より3倍に増えた顧客に対して、本来なら営業人数を増やす、または出張回数を増やすところではあるが、ネット販売を推進する事によって同じ人数で対応している。これにより、出張に関わる公共交通機関などの利用を減らす事でCO2排出の削減につなげている。さらに、自社で取り扱う畳表の裁断などから廃棄されるい草を、畑にまいて燃やさない事で、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自社で取り扱う畳表は、塗料や灯油を使わない「無着色・無加工」の製品で、安心安全な商品のみを扱っている。 週一回行っている裁断機のメンテナンスで油などで汚れた手は、下水を通る水道で洗うようにしている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		社内はもちろん顧客に対してもペーパーレス化を推進している。社内利用のコピーにおいても裏紙を利用し、また一度使った商品梱包紙は商品を巻物にする時の再利用など、ごみの削減に取り組んでいる。昼食の弁当においては一部でマイ箸、マイスプーンを持参し、廃プラ削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事業活動においては水は特別使わないが、車の洗車は洗剤を使わず水だけで行ったり、トイレの設備を節水対応の物に取り替えたり、夜間は使わないように元栓を閉めたり、水を無駄使いしないように節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙やマジックなどの事務用品は、グリーン購入、森林認証商品などを可能な限り購入しており、環境に配慮した製品の購入を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの供給を行っている。また、プリンター・LED照明等、省エネの機器を導入し、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。 注文のオンライン化により、作業現場のパソコンに即時に出荷指示書のデータが自動で作成され、人の手を介さず確認できる体制になっている。また、請求書の発行も顧客自らオンライン上で確認、発行できるようにしている。このような仕組みにより、印刷物の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		扱う商品は無着色・無加工であり、安全性を確保している。 保管庫には、除湿機・クーラーを設置して、梅雨時期は商品(畳表)にカビの発生などがないよう、品質の確保に努めている。 弊社のネット販売サービスにおいて、商品の正確な等級の格付を行う事で、顧客のイメージに沿った商品を提供し、サービスの品質確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		省力化の機械を導入したり、作業場床面の整備をして段差を解消したり、暑さ対策で作業場にも板を張るなどの対策を行ってきた。このように社員皆が働きやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	事務所の床には杉・壁半分はひのきを使い、倉庫の壁も杉を使い、県産材を使用し木質化を促進している。 木質化により、保管庫においては倉庫湿度管理で除湿機の稼働を減らしている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	畳表市場において、化学製品の畳表が増えている中、弊社では熊本産の天然い草の畳表を扱い、その天然い草が選ばれるよう、産地研修やネット発信などで畳店への知識・情報提供を行っている。また、同業者の組合組織において、天然い草が選ばれる為の、のぼり旗、チラシ、ポスター、冊子などを発行しPRしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		社員に対し、居住する地域の消防団活動などに参加するよう奨励している。 寄付においては、2020年の球磨川での水害や、日本赤十字社、災害時に5日で畳5000枚を届ける全国組織の団体などに毎年寄付を行っている。また地元い草産業が振興するように、組合に参加して会費を納めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		社内情報システムの緊急連絡網のページにハザードマップ9種類を掲載して、スマホでいつでも確認出来るようにしている。 火災報知器、消火栓設備等、消防法に沿った防災設備を設置している。 また、消火器の点検・操作を年1回行い、消火器の使い方など防災訓練をしている。その他、倉庫の屋根は瓦屋根をなくす改修をして強化し、台風などの防災対策を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	都市部に出なくても、地元で夢を持って働ける魅力的な会社を目指し、目標達成に向けた全体の設計図（swot分析-重要成功要因抽出-実行計画策定）を作成し、毎年見直しを行っている。そして社員それぞれに得意な分野を担当し、その分野の能力を伸ばす事で、全体の事業価値を高め、安定した経営が継続できるよう取り組んでいる。 地元の高校・大学へ毎年求人を申込み、2021年度は地元の高校生を1人雇用した。				4.4				8.5 8.6									17

	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。